

事業案内

2016(平成28)年度事業報告

2017(平成29)年度事業計画



社会福祉法人
仙台いのちの電話

目 次

巻頭言「いのちの電話の果たす役割の大切さ」	1
2016（平成 28）年度事業報告	
1. 相談活動	2
2. 法人開催の会議等	7
3. 相談員の養成と研修	7
4. 研修担当者の研修	10
5. 自死遺族支援事業「すみれの会」	10
6. 石巻分室	10
7. 広報活動	10
8. 後援会活動への協力	11
9. 自殺予防厚生労働省補助事業への協力	11
10. 他機関との連携	11
11. その他 委員会活動	12
12. 相談員の会	12
13. 財務報告	13
2017（平成 29）年度事業計画	17
後援会（活動を支えてくださった後援会会員）	20
後援会主催事業	26
役員・委員・後援会役員名簿	27
組織	28
仙台いのちの電話では・・・すみれの会	29
相談員募集	30
活動スナップ	31
ご協力のお願ひ・寄附金控除のご案内	32

いのちの電話の果たす役割の大切さ

理事長 飯岡 智

仙台いのちの電話は、多くの方のご支援により 1982 年 11 月に創立して以来、これまでに延べ 61 万件に上る電話対応をしてまいりました。お陰様で 28 年度の事業報告並びに 29 年度の事業計画をお示しすることが出来ますことに心から御礼申し上げます。

仙台いのちの電話は、多くの皆様のご理解と評価をいただき、これまで地道に活動を続けてまいりました。

200 名あまりの相談員による、365 日 24 時間の電話対応により、少しでも自死される方の減少に力を尽くすことができたと願っております。

これまでに、研修を受け認定を受けた相談員の数は延べ 765 名に達しており、世代交代する中で、新たに相談員としての研修を始められる方々に感謝をしながら、1 年半に渡る相談員養成の充実を図り、より良い相談ができる体制を今後も強化していきたいと考えております。

同時に、インターネットによる相談のための研修や、24 時間の相談体制を継続していくためにも、どのように工夫していくべきかを検討しながら対応をしてみたいと思います。

これまで培ってきたよき伝統や、方法などを大切にしながら、変えてはならないものと、時代に合わせて変えていくべきものを精査しながら、しっかりと地についた活動として継続できるように力を尽くしていければと考えております。

一本の電話を通して「きっと道はある」と一人でも多くの人に知ってもらい、いのちの電話としての役割を果たしていくことに全力で取り組んでいきたいと思えます。

いのちの電話は、多くの人々の善意の支えの上に成り立っています。いのちの電話を支えて下さる皆様に、今後ともより一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2016（平成28）年度事業報告

1. 相談活動（2016/1～12）

(1) 電話相談

①相談体制

- ・相談日・相談時間 365日 1日24時間（1日8交代）
- ・相談電話台数 3台
- ・相談員数 199名（2017/4/1現在）

②電話相談の概要

・通常相談

相談電話件数 19,527件（男10,314、女9,213）前年比312件減

〔内、自殺傾向のある相談 2,059件（男907、女1,152）前年比265件減〕

*全国いのちの電話受信件数 653,944件（男328,486、女325,458）

〔内、自殺傾向のある相談 70,594件（男30,576、女40,018）〕

・その他相談

a. 「自殺予防いのちの電話」フリーダイヤル（毎月10日 午前8時～翌朝8時） 760件（男415、女345）

*全国いのちの電話受信件数 29,849件（男15,925、女13,924）

b. ヤングテレホン相談（仙台市より、閉庁時転送受信の業務受託）
51件（男31、女20）

c. 登米いのちホッとテレホン相談（登米市より転送受信の業務受託）
40件（男8、女32）

d. 24時間いじめ相談専用電話（仙台市教育委員会より、閉庁時転送受信の業務受託） 234件（2016/5/1～2017/1/31）

*相談件数310件（仙台市教育相談課受信を含む）

* a～dの相談件数は受信件数19,527件に含まれる。

◎1982年（開局）～2016年

電話相談件数 614,184件（内、自殺傾向のある相談36,298件）

(2) インターネット相談

①相談体制 毎月7～8回 ネット相談員数27名（2017/4/1現在）

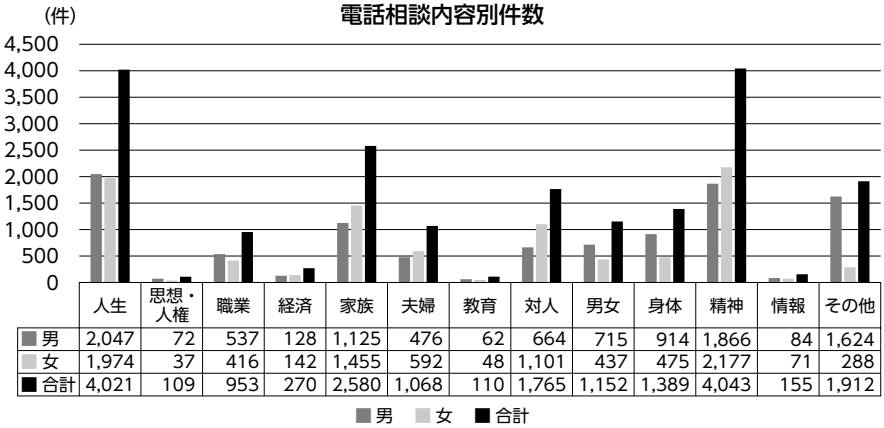
②相談の概要（2016/1～12）

・相談件数 498件（男性179、女性319）前年比136件減

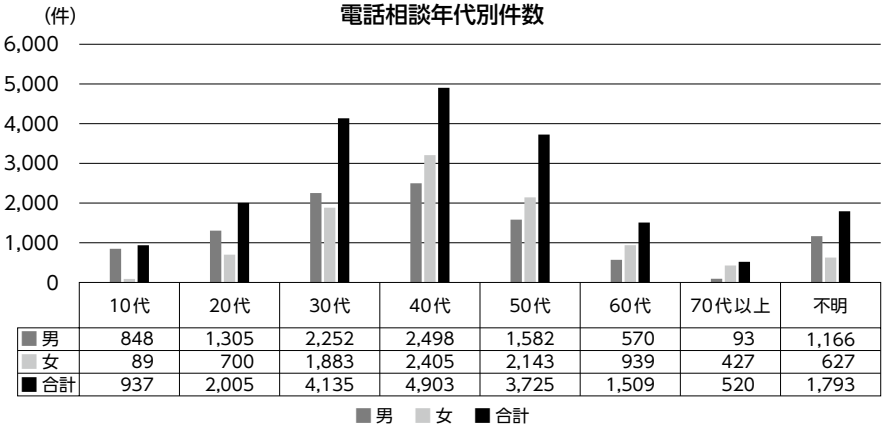
・自殺傾向 自殺志向252件（男性89、女性163）受信件数の50.6%

*全国受信件数 2,734件（内、自殺傾向1,297件）前年比331件減

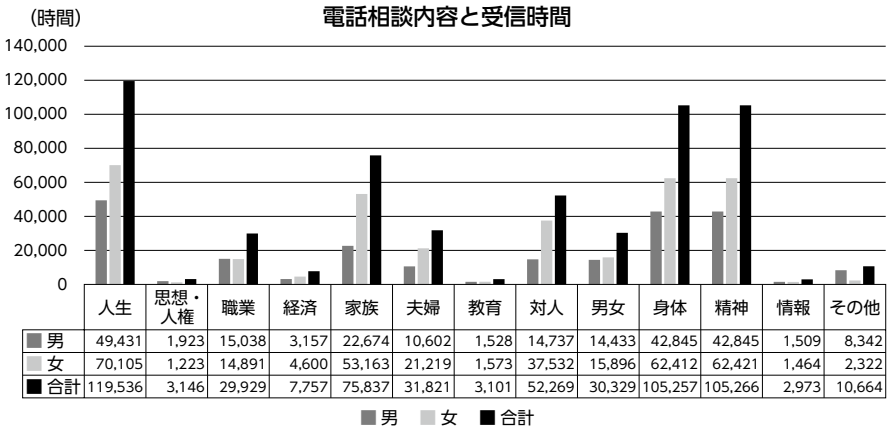
電話相談内容別件数

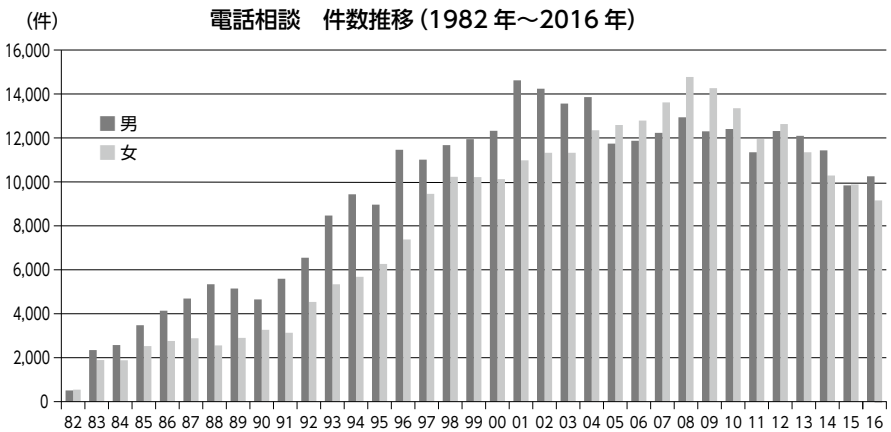
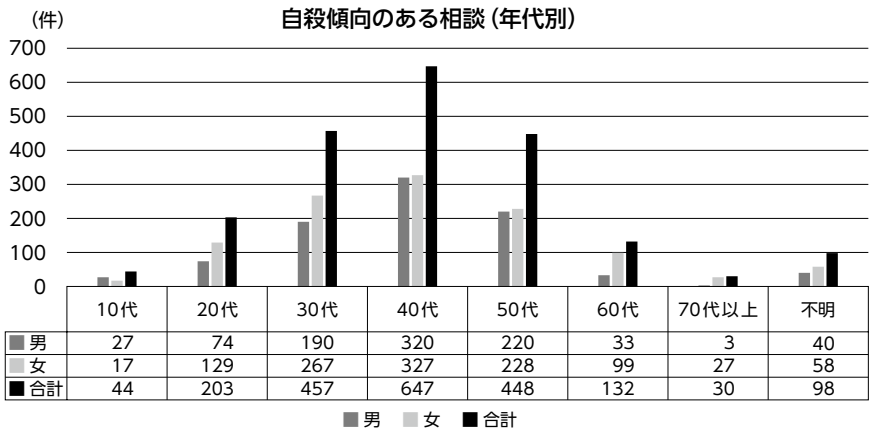
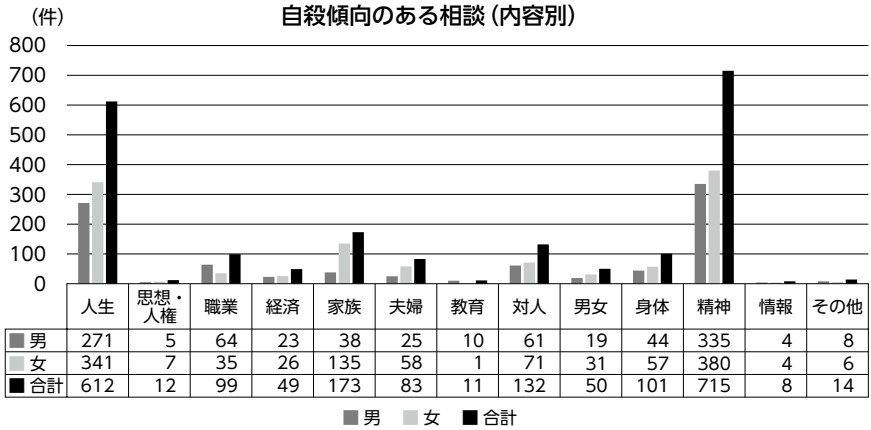


電話相談年代別件数

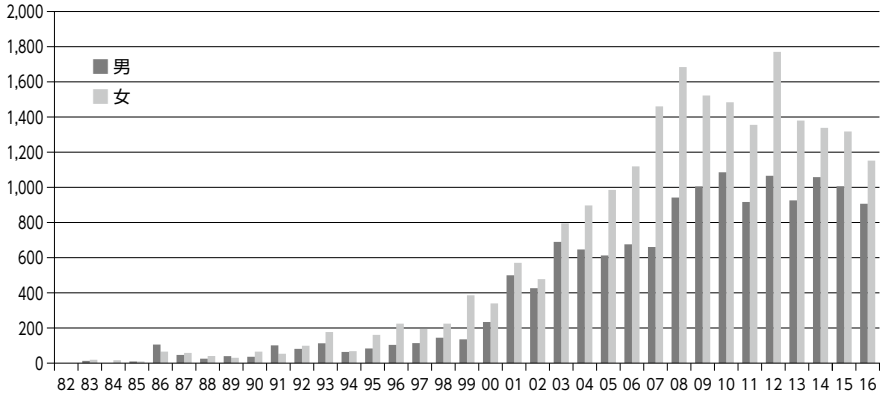


電話相談内容と受信時間

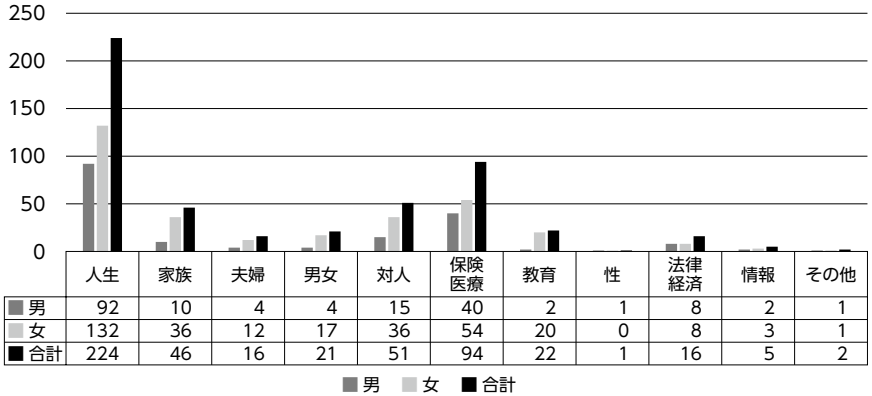




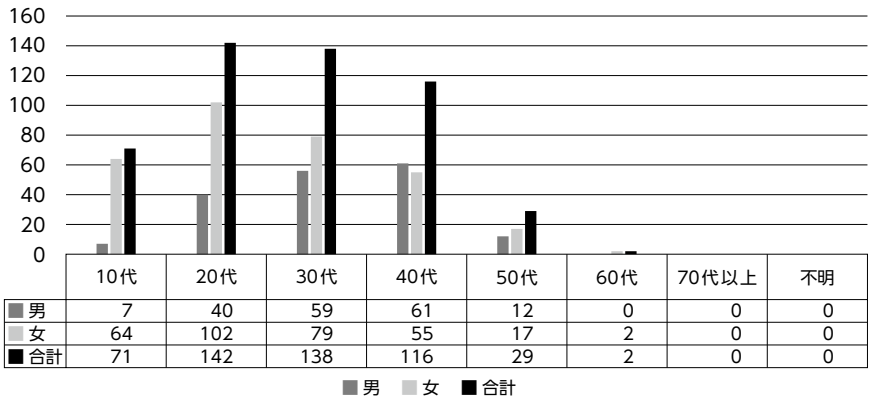
(件) 電話相談 自殺志向のある件数推移 (1982年～2016年)

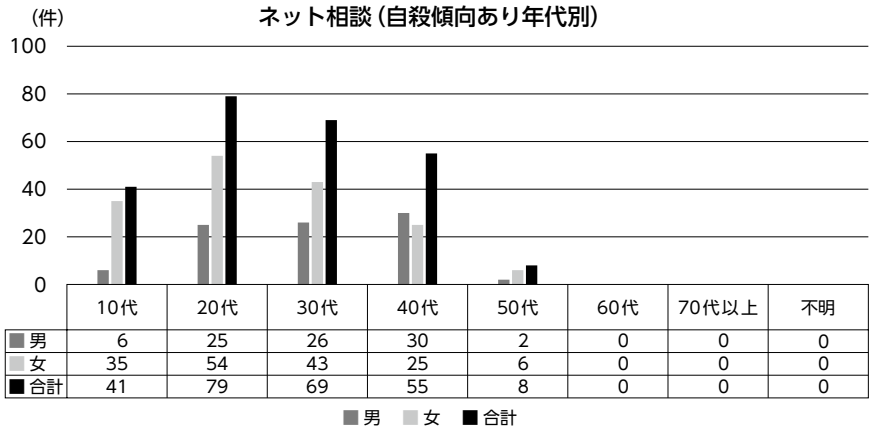
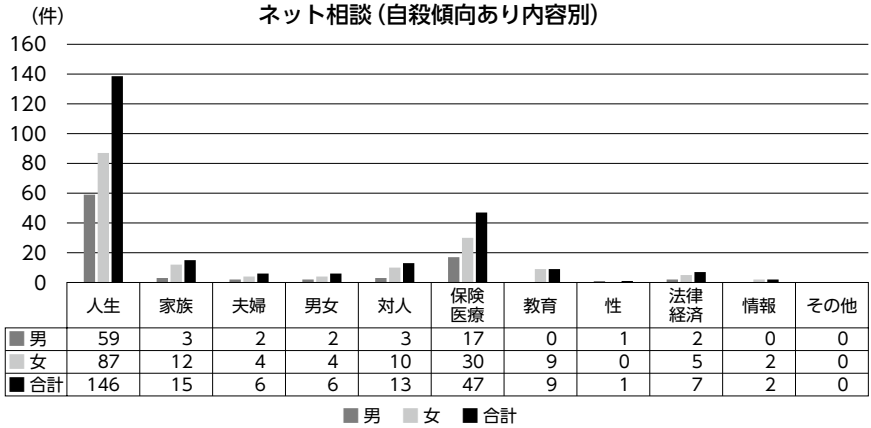


(件) ネット相談内容別件数



(件) ネット相談年代別件数





2. 法人開催の会議等

①理事会、評議員会

日 程	理事会（116回～120回）	評議員会（89回～91回）
2016/ 4/28（木）	仙台市「24時間いじめ相談専用電話」業務委託について	仙台市「24時間いじめ相談専用電話」業務委託について
2016/ 5/23（月）	2015年度事業報告・決算・監査報告	2015年度事業報告・決算・監査報告
2016/11/22（火）	評議員の選任について、定款変更について他	理事・監事の選任について、定款変更について他
2016/12/ 1（木）	理事長及び常務執行理事の選任	
2017/ 3/24（金）	2016年度補正予算、2017年度事業計画・予算他	2016年度補正予算、2017年度事業計画・予算他

②常務会・運営委員会 毎月1回

③仙台いのちの電話のつどい

2016/8/7（日）13:30～15:00 会場：出あい村サロン 相談員30年・20年・10年継続者への感謝状贈呈他

3. 相談員の養成と研修

(1) 相談員の養成

①電話相談員の養成

受講生 41期11名（2014/10～2016/ 3）

42期19名（2015/10～2017/ 3）

43期12名（2016/ 4～2017/ 7）

☆相談員養成講座内容（＊43期養成）

- ・グループ演習〈2016/4～2016/7 毎週1回2時間及び宿泊研修〉
エクササイズと対面によるロールプレイング。自分を題材にして話し合い、相手の話を聴く姿勢を体験する。グループに信頼を寄せ、自由に発言できるように基本的な信頼関係を作る。
- ・講義〈2016/8～2017/3 全13回及び実習についての事前研修2回 ともに1回90分〉 電話相談にかかる主要課題について、必要な知識と相談活動の視点を学ぶ
- ・役割学習〈2016/8～2017/3 毎月1回〉

相談者役や他のメンバーのフィードバックを受けて、自分の対話の傾向について理解する。

・電話相談実習・グループ研修等（2017/4～2017/9）

②ボランティアリーダーの養成

電話相談員活動5年以上経験者から養成

受講生 7期5名〈2016/11～2017/12 計92時間〉

☆ボランティアリーダー養成講座内容（*7期養成）

・日本電話相談学会SV研修セミナー参加〈2016/11/13～12/17 25時間〉

・感受性訓練〈17時間〉

・個人SVロールプレイング実習〈6時間〉

・継続グループ研修〈12時間〉

・グループ研修（コファシリ体験）〈32時間〉

③すみれの会ファシリテータ養成

電話相談員活動5年以上経験者から養成

受講生 2名〈2016/9～2017/8 計25時間〉

(2) 相談員の継続研修

①グループ研修：18グループのいずれかに所属し、研修する。年間約10回（1回2時間）

②グループスーパービジョンまたは個人スーパービジョンを受ける（年1回）

③一泊研修会他

日程	研修名	講師	参加数
2016/ 7/23（土） ～ 24（日）	一泊研修会 テーマ：体験学習 —寄りそわれてみ ませんか 会場：茂庭荘	A：石井千賀子 （ルーテル学院大学非常勤講師） B：布柴靖枝 （文教大学人間科学部教授） C：日高正宏 （京都いのちの電話研修委員長） D：福山清蔵 （立教大学名誉教授）	106
2016/ 9/15（木） ～ 17（土）	いのちの電話相談員全国研修 会なら大会への参加		12
2016/10/22（土）	リフレッシュ研修会 対象：相談員3・7年目	水田恵三・梁川優子 （仙台専門委員）	29

2016/11/ 4 (金)	特別研修会 テーマ:「寄り添えない私 パート2」	有田モト子 (城西国際大学講師・ 臨床心理士)	18
2016/12/ 4 (日)	自殺予防いのちの電話特別 研修会 テーマ: 僕が今一番伝えた いこと～日本にお ける貧困問題～	大西連 (認定NPO 法人自立生活 サポートセンター・もやい理 事長)	24
1) 2017/ 2/25 (土) 2) 2017/ 2/26 (日)	一日研修会 テーマ:「聴く」～☎「今」 を受容する～ 会場: ①仙台市市民活動サ ポートセンター ②仙台市福祉プラザ	齋藤眞 (仙台専門委員)	1) 75 2) 62
1) 2016/ 8/ 2 (火) 2) 2016/ 9/ 1 (木) 3) 2016/10/29 (土) 4) 2016/11/ 6 (日) 5) 2016/12/19 (月) 6) 2017/ 3/20 (月)	インターネット相談継続 研修会 会場: 仙台いのちの電話	1) 横田和子 (愛媛研修担当) 2) 千葉健 (仙台専門委員) 3) 野口理英子 (愛媛研修担当) 4) 國分振 (仙台専門委員) 5) 佐藤静 (仙台専門委員) 6) 國分振・千葉健 (仙台専門委員)	1) 21 2) 19 3) 12 4) 13 5) 16 6) 8
毎月第2月曜	フリー学習 テーマ:「フランクルを学ぶ」	佐藤文子・國分振 (仙台専門委員)	18 *登録制
毎月第4水曜	フリー学習 テーマ: 謎解きをしてみよう	大和田誠子 (仙台専門委員)	15 *登録制

(3) その他

第15回アジア太平洋地域カウンセリング国際会議

2016/7/7 (木)～9 (土) 会場: 韓国 (ソウル) 参加者: 6名 (飯岡理事長・
出村理事・相談員4名)

4. 研修担当者の研修

日 程	テーマ	講 師	参加数
2016/11/12 (土) ～ 13 (日)	ラボラトリー方式の体験学習 (ラボラトリートレーニング)	植平修 (ヒューマン・インターアクション・ラボラトリー研究会) 博野英二 (ヒューマン・インターアクション・ラボラトリー研究会)	15
2017/ 3/16 (木)	インテークについて	大和田誠子 (仙台専門委員)	10
2016/ 2/28 (日)	『真の出会いを求めて』	末松渉 (東京いのちの電話研修委員長)	19

5. 自死遺族支援事業「すみれの会」

- ・わかちあいの集い 毎月2回開催
開催日：第1土曜日・第3水曜日 13:00～15:00
会場：仙台市市民活動サポートセンター 参加者：のべ49名 (2016/1～12)
- ・宮城県自死遺族支援連絡会シンポジウム
開催日：2016/12/2 (金) テーマ：自死遺族を取り巻く法的問題
講師：齋藤幸光 (司法書士) 会場：仙台市シルバーセンター交流ホール
- ・いのちの電話自死遺族支援合同研修会
開催日：2016/12/22 (木) テーマ：「悲しみの淵から」
講師：若林一美 (立教女学院短期大学学長)
会場：東京飯田橋 富士見町教会 参加数：6名
- ・すみれの会広報のための公開講演会 (仙台市補助事業)
開催日：2017/1/22 (日) 講師：林義子 (東京いのちの電話理事)
会場：仙台市シルバーセンター 参加者：80名

6. 石巻分室

- ・電話相談受付件数 (2016/1～12) 1,206件。スーパービジョン、ミーティング等実施
- ・石巻市「石巻広域都市計画道路事業七窪蛇田線」事業のため、6月17日移転。新分室で活動開始。

7. 広報活動

①広報紙発行

No.97 (7月発行) 「不安障害 (パニック症) について (千葉健)」、「本・新たな出会い」、すみれ便り、想い
公開講演会のお知らせ、チャリティイベントのお知らせ

No.98 (12月発行) 「認知症かなと思ったとき (千葉健)」、「そこは愛する自分と向き合うことのできるお気に入りの場所」、「日本人から見たアウシュヴィッツ」を聞いて、第44期相談員養成講座受講生募集、すみれ便り、気づき、「第15回アジア太平洋電話相談韓国会議」に参加して、いのちの電話全国研修会なら大会に参加して、仙台的のちの電話公開講演会のお知らせ

②公開講演会の開催

・「こころの声を聴く力」 2016/7/22 (金)

講師：山根基世氏 会場：仙台市福祉プラザ 参加者：235名

③事業案内発行、ホームページの充実、講師派遣 (講演会等で他団体へ)

8. 後援会活動への協力

- ・後援会員の新規開拓
- ・チャリティイベント開催 2016/9/16 (金) 電力ホール
出演：由紀さおり 入場者：722名
- ・チャリティバザー「いのでんマルシェ」 2016/10/8 (土) 藤崎前

9. 自殺予防厚生労働省補助事業への協力

- ・「自殺予防いのちの電話 (フリーダイヤル)」実施
毎月10日8時～翌朝8時 24時間
「自殺予防いのちの電話」は通常相談とは別に、全国いのちの電話が協力し一斉に特設電話により、24時間体制で受信する。
- ・ポスター・カードの配布

10. 他機関との連携

いのちの電話の本来の活動と並行して、他の相談機関との連携をはかる。

- 宮城県自殺対策推進会議・仙台市自殺対策連絡協議会・宮城県自死遺族支援連絡会 (5団体) 他連絡会参加
- 「仙台市ヤングテレホン相談」業務受託 (仙台市閉庁時間)
- 「登米いのちホッとテレホン相談」業務受託
- 「無料法律相談とこころの健康相談会」仙台市業務受託 (毎月1回)
自殺予防を目的に弁護士・カウンセラー・臨床心理士等による個別面談
相談件数：法律相談115件・こころの相談63件
- 「24時間いじめ相談専用電話」業務委託 (仙台市教育委員会閉庁時間)

11. その他 委員会活動

(1) 研修関係

①研修委員会

定例開催（月1回）、相談員養成・継続研修・相談員のケア等研修に関して検討
研修委員会構成：専門委員会3名・ボランティアリーダー会2名・研修企画会2名・調査研究会2名・事務局長

②各委員会

a. 専門委員会

定例会開催（月1回）、相談員継続研修（グループ研修・スーパービジョン）、相談員ケア、相談員養成・認定、ボランティアリーダー養成、インターネット相談員養成等を担当

b. ボランティアリーダー会

定例会開催（月1回）、相談員継続研修（グループ研修・スーパービジョン）、相談員ケア、相談員養成

c. 研修企画会

定例会（月1回）、相談員一泊研修会・一日研修会の企画・検討
（構成：相談員8名、専門委員1名、事務局1名）

d. 調査研究会

定例会（月1回）相談の内容・傾向・その対応について調査・研究
（構成：相談員9名、専門委員1名）

③養成研修部会（特別委員会）

新相談員・ボランティアリーダー養成について検討
（構成：専門委員会4名、ボランティアリーダー会3名、事務局長）

(2) 広報委員会

広報紙作成のための取材と編集・配布

広報紙 No.97号・98号発行

（構成：相談員5名、専門委員1名、事務局1名）

12. 相談員の会

相談員の会総会 2016/5/28（土）

相談員グループ代表者会 毎月1回開催

相談員相互の資質の向上と親睦を図り、福利厚生に資する。法人及び後援会行事への協力と参加 他

13. 財務報告

2016（平成 28）年度資金収支計算書

（自）平成 28 年 4 月 1 日 （至）平成 29 年 3 月 31 日
（単位：円）

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	相談事業収入	21,577,000	21,778,480	△ 201,480
	経常経費寄付金収入	12,813,000	13,038,249	△ 225,249
	受取利息配当金収入	22,000	19,562	2,438
	その他の収入	5,998,000	6,057,992	△ 59,992
	事業活動収入計 (1)	40,410,000	40,894,283	△ 484,283
支出	人件費支出	10,507,000	10,530,890	△ 23,890
	事務費支出	25,666,000	24,747,064	918,936
	事業活動支出計 (2)	36,173,000	35,277,954	895,046
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		4,237,000	5,616,329	△ 1,379,329
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計 (4)	0	140,000	△ 140,000
	支出			
	固定資産取得支出	669,000	669,600	△ 600
施設整備等支出計 (5)	669,000	669,600	△ 600	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 669,000	△ 529,600	△ 139,400
その他の活動による収支	収入			
	支出			
その他の活動支出計 (8)		0	0	0
予備費支出 (10)		0		0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		3,568,000	5,086,729	△ 1,518,729
前期末支払資金残高 (12)		1,172,000	1,296,236	△ 124,236
当期末支払資金残高 (11) + (12)		4,740,000	6,382,965	△ 1,642,965

- * 補助金 宮城県地域自殺対策強化事業 2,148,560 円
(新電話相談員養成、人材養成、普及啓発、電話相談事業)
- * 補助金 仙台市（新電話相談員養成・自死遺族支援） 650,000 円
- * 配分金 宮城県共同募金会（相談員研修事業） 1,650,000 円
- * 委託金 仙台市 24 時間いじめ相談専用電話業務（仙台市教育局閉庁時間） 12,843,000 円
- * 委託金 仙台市個別面談業務（こころ・法律） 2,536,920 円
- * 委託金 仙台市ヤングテレホン業務（仙台市閉庁時間） 2,000,000 円
- * 委託金 登米いのちホッとテレホン業務 1,400,000 円

2016（平成28）年度事業活動計算書

（自）平成28年4月1日 （至）平成29年3月31日
（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減
サービス活動増減の部	収 益			
	相 談 事 業 収 益	21,778,480	9,796,720	11,981,760
	経 常 経 費 寄 付 金 収 益	13,038,249	13,805,131	△ 766,882
	サ ー ビ ス 活 動 収 益 計 (1)	34,816,729	23,601,851	11,214,878
	費 用			
	人 件 費	10,530,890	12,481,481	△ 1,950,591
	事 務 費	24,747,064	16,938,150	7,808,914
減 価 償 却 費	2,161,470	2,093,487	67,983	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,071,562	△ 1,069,562	△ 2,000	
サ ー ビ ス 活 動 費 用 計 (2)	36,367,862	30,443,556	5,924,306	
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 1,551,133	△ 6,841,705	5,290,572	
サービス活動外増減の部	収 益			
	受 取 利 息 配 当 金 収 益	19,562	41,665	△ 22,103
	その他のサービス活動外収益	6,057,992	2,498,072	3,559,920
	サ ー ビ ス 活 動 外 収 益 計 (4)	6,077,554	2,539,737	3,537,817
	費 用			
サ ー ビ ス 活 動 外 費 用 計 (5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	6,077,554	2,539,737	3,537,817	
経 常 増 減 差 額 (7) = (3) + (6)	4,526,421	△ 4,301,968	8,828,389	
特別増減の部	収 益			
	そ の 他 の 特 別 収 益	0	140,000	△ 140,000
	特 別 収 益 計 (8)	0	140,000	△ 140,000
	費 用			
特 別 費 用 計 (9)	0	0	0	
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	0	140,000	△ 140,000	
当 期 活 動 増 減 差 額 (11) = (7) + (10)	4,526,421	△ 4,161,968	8,688,389	
繰越活動増減差額の部	前 期 繰 越 活 動 増 減 差 額 (12)	1,129,284	4,291,252	△ 3,161,968
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	5,655,705	129,284	5,526,421
	基 本 金 取 崩 額 (14)	0	0	0
	そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額 (15)	0	1,000,000	△ 1,000,000
	そ の 他 の 積 立 金 積 立 額 (16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	5,655,705	1,129,284	4,526,421

貸借対照表



(自) 平成 28 年 4 月 1 日 (至) 平成 29 年 3 月 31 日
(単位: 円)

資 産 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	6,382,965	1,296,236	5,086,729
現金預金	1,023,654	1,296,236	△ 272,582
事業未収金	3,210,750	0	3,210,750
未収補助金	2,148,560	0	2,148,560
立替金	1	0	1
固定資産	84,678,087	86,309,957	△ 1,631,870
基本財産	79,735,896	80,938,299	△ 1,202,403
建物	50,385,896	51,588,299	△ 1,202,403
定期預金	29,350,000	29,350,000	0
その他の固定資産	4,942,191	5,371,658	△ 429,467
構築物	60,667	69,667	△ 9,000
器具及び備品	3,864,931	3,938,867	△ 73,936
権利	456,593	611,124	△ 154,531
ソフトウェア	560,000	752,000	△ 192,000
資産の部合計	91,061,052	87,606,193	3,454,859
負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	0	0	0
固定負債	0	0	0
負債の部合計	0	0	0
純 資 産 の 部			
基本金	50,174,349	50,174,349	0
国庫補助金等特別積立金	35,230,998	36,302,560	△ 1,071,562
その他の積立金	0	0	0
次期繰越活動増減差額	5,655,705	1,129,284	4,526,421
(うち当期活動増減差額)	4,526,421	△ 4,161,968	8,688,389
純資産の部合計	91,061,052	87,606,193	3,454,859
負債及び純資産の部合計	91,061,052	87,606,193	3,454,859

監事監査報告書

平成 29 年 4 月 21 日

社会福祉法人 仙台いのちの電話
理事長 飯岡 智 殿

監事 今野隆三 
監事 高橋雄一郎 

私たち監事は、社会福祉法人仙台いのちの電話の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査をいたしました。

この監査にあたって、私たち監事は、関連する法令および通知に従い、必要と認めた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果、私たち監事の意見は次のとおりです。

- (1) 事業報告書は、関連する法令および通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます
- (2) 財産目録は、関連する法令および通知に従い、当会の財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (3) 貸借対照表は、関連する法令および通知に従い、当会の資産と負債の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (4) 資金収支計算書は、関連する法令および通知に従い、当会の収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (5) 事業活動収支計算書は、関連する法令および通知に従い、当会の事業活動に係る収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (6) 理事の業務執行の状況は適正であると認めます。

以上